

# 第 10 回デフリンピック運営委員会 議事次第

日時：2025年3月6日 9：30～11：30

場所：戸山サンライズ 2階 大会議室

## 1. 委員長挨拶

## 2. 議題

- (1) 2025年度事業計画（案）について 【連盟】
- (2) 2025年度予算（案）について 【連盟】

## 3. 報告

- (1) デフリンピック・フェスティバル開催について 【連盟】
- (2) 第4回コンプライアンス委員会について 【連盟】
- (3) 第4回及び第5回利益相反管理委員会について 【連盟】
- (4) 2024年度利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について 【連盟】
- (5) ボランティアについて 【都】
- (6) 令和6年度デフリンピック気運醸成の都の主な取組について 【都】
- (7) 「ビジョン2025 アクションブック バージョンアップ」について 【都】
- (8) 競技会場・競技日程について 【事業団】
- (9) 協賛企業の状況について 【事業団】
- (10) キャッシュレス募金について 【事業団】
- (11) さくらキャンペーンについて 【事業団】

## 2. 議題（1）2025年度事業計画（案）について（全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会）

【基本方針】 2025年度は、都のガイドライン等を踏まえたガバナンス・コンプライアンス確保を継続すると共に、東京都スポーツ文化事業団等と連携し、大会本番に向けた準備に取り組む。大会後には、大会の記録や記憶を円滑に継承するため、公式報告書作成等を行う。

### 【2025年度事業計画】

#### ○ガバナンス・コンプライアンス確保の継続

- ・ 都のガイドライン等を踏まえたガバナンスやコンプライアンスの確保の継続
- ・ 役職員等向けコンプライアンス研修、利益相反管理の遵守状況の確認の継続
- ・ 契約調達管理会議への契約・調達案件付議、大会専用の会計運用
- ・ 内部監査・監事・外部監査人が密に連携した三様監査体制を通じた監査機能の強化、透明性の確保

#### ○大会準備業務

- ・ ICSDや関係団体等との調整、連携
- ・ 全国への気運醸成イベントの推進
- ・ 未来へつながるプログラムの展開
- ・ 国際手話通訳者の養成
- ・ 大会情報の発信（国外・国内）

#### ○大会後の報告業務

- ・ 大会報告書の作成、公表

## 2. 議題（2）2025年度予算（案）について

### デフリンピック運営委員会 会計（抜粋）

単位：千円

科 目	当年度
I. 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1)経常収益	
受取寄付金	0
雑収益	0
経常収益計	0
(2)経常費用	
①事業費	
会議費	100
旅費交通費	3,400
通信費	50
消耗品費	100
広報費	50
雑役務費	900
事業費 計	4,600
経常費用計	4,600
当期経常増減額	-4,600

2. 経常外増減の部	
(1)経常外収益	
繰入金収入	4,600
経常外収益計	4,600
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	4,600
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	0

※本予算案は、全日本ろうあ連盟評議員会において2025年度予算案が可決した場合に確定する。

- ICSD等の連絡調整、気運醸成イベントの推進を、全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会が担当
- 2025年度の経費として、以下の経費を計上
  - ・ ICSDや関係団体等との調整、連携
  - ・ 全国の気運醸成イベントの推進
  - ・ 大会情報の発信
- 連盟の他会計からの繰入金により運営委員会の経常費用を充当

### 3. 報告（1）デフリンピック・フェスティバル開催について

第8回運営委員会において、開催箇所を全国8か所(9回)から1か所増やし、全9カ所(10回)で開催することを承認いただいた。

その後、石川県から助成金10万円の予算内で追加の開催要望があり、予算の範囲内であり事業趣旨と合致するため、これを認めた。その結果、合計で9カ所11回の開催となった。

今年度は、大規模集客施設でのイベント実施や自治体または民間の大規模集客イベントに組み入れる形で実施したことから、延べ約26,000名にデフリンピックの周知ができたことは効果的であった。

#### <参考> 事業概要及び2024年度開催方針等（再掲）

- 2024年度に実施するデフリンピックの気運醸成に資する取組みに対し、10万円を限度として助成
- 大規模集客施設でのイベント実施や自治体または民間の大規模集客イベントに組み入れる形で実施
- 全国9か所で開催
- 助成対象とする経費（2023年度と同様）
  - 諸謝金、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、通信運搬費、雑役務費、保険料、委託料

## 実施状況一覧

開催地	開催規模、内容	○イベントの主催、協力等 ■フェスティバルの主催、協力等
<p>①福岡市（福岡県）</p> <p>東京2025デフリンピック」を九州から盛り上げていこう！</p>	<p>○9月8日（日）</p> <p>○会場：大丸福岡天神店 エルガーラ・パサージュ広場</p> <p>○参加者：市民約400名</p> <p>○内容：デフリンピックに関する手話教室・啓発ブース</p>	<p>○主催：一般社団法人言葉のかけはし、（株）博多大丸九州探検隊</p> <p>■社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会</p>
<p>②青森市（青森県）</p> <p>手話言語の国際デー2024inあおもり</p>	<p>○9月23日（月祝）</p> <p>○会場：青森県観光物産館アスパム</p> <p>○参加者：市民・観光客約500名</p> <p>○内容：啓発映画上映、手話教室・国際手話教室、しゅわしゅわデフリンピック（ダンス）、スタンプラリー、展示</p>	<p>○主催：青森県、青森県ろうあ協会、青森県手話通訳士協会、青森県手話通訳問題研究会、青森県手話サークル連絡協議会</p> <p>■一般社団法人青森県ろうあ協会</p>
<p>③横浜市（神奈川県）</p> <p>デフリンピック・フェスティバル</p>	<p>○9月28日（土）</p> <p>○会場：ららぽーと横浜</p> <p>○参加者：市民約350名</p> <p>○内容：デフリンピックPRブース、国際手話教室、ミニ手話教室</p>	<p>○共催：全日本ろうあ連盟、三井不動産商業マネジメント株式会社</p> <p>■一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟</p>
<p>④徳島市（徳島県）</p> <p>デフリンピック・フェスティバルinとくしま</p>	<p>○10月14日（月祝）</p> <p>○会場：県立障がい者スポーツセンター</p> <p>○参加者：市民約160名</p> <p>○内容：デフリンピック映画上映会・手話体験・スポーツ体験・展示</p>	<p>○共催：四国ろうあ連盟、四国ろうあ連盟スポーツ委員会、徳島県パラスポーツ協会</p> <p>○後援・協力：徳島県、徳島市、他</p> <p>■特定非営利活動法人徳島県聴覚障害者福祉協会</p>
<p>⑤富士見市（埼玉県）</p> <p>デフリンピック・フェスティバル</p>	<p>○10月19日（土）・20日（日）</p> <p>○会場：ららぽーと富士見</p> <p>○対象：市民約470名</p> <p>○内容：デフリンピックPR、展示、ミニ手話講座、ぬり絵</p>	<p>○共催：全日本ろうあ連盟、三井不動産商業マネジメント株式会社</p> <p>協力：埼玉県手話通訳問題研究会、埼玉県手話サークル連絡協議会、埼玉県、富士見市、三芳町</p> <p>■一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会</p>

開催地	開催規模、内容	○イベントの主催、協力等 ■フェスティバルの主催、協力等
<p>⑥江東区（東京都）</p> <p>デフリンピック・フェスティバル</p>	<p>○10月27日（日）</p> <p>○会場：ららぽーと豊洲</p> <p>○参加者：約120名</p> <p>○内容：デフリンピックPRブース、手話・身振り学習コーナー、展示</p>	<p>○共催：全日本ろうあ連盟、三井不動産商業マネジメント株式会社</p> <p>■東京都聴覚障害者連盟</p>
<p>⑦亀岡市・京都市（京都府）</p> <p>デフリンピック・フェスティバル inきょうと</p>	<p>(1)11月9日（土）</p> <p>○会場：かめきたサンガ広場</p> <p>○参加者：約15,600名</p> <p>(2)12月14(土)・15(日)</p> <p>○会場：かたおかアリーナ京都</p> <p>○参加者：約8,200名</p> <p>○内容：(1) (2)とも 啓発チラシ配布、啓発動画視聴、ミニ手話体験コーナー、デフリンピック出場選手による質疑応答コーナー、展示</p>	<p>○協力：</p> <p>(1) (株)京都パープルサンガ</p> <p>(2)スポーツコミュニケーション KYOTO(株)</p> <p>■近畿ろうあ連盟、一般社団法人京都府聴覚障害者協会</p>
<p>⑧かほく市・白山市（石川県）</p> <p>(1)デフリンピック気運醸成事業</p> <p>(2)パラスポーツフォーラム</p>	<p>(1)12月1日（日）</p> <p>○会場：かほく市総合体育館</p> <p>○参加者：プロ卓球チーム試合の観戦者 約50名</p> <p>○内容：デフリンピックPRブース・手話体験コーナー</p> <p>(2)2月11日（祝）</p> <p>○会場：イオンモール白山</p> <p>○参加者：約80名</p> <p>○内容：手話体験、デフアスリートトークショー、デフリンピックPR</p>	<p>○主催：</p> <p>(1)石川県</p> <p>(2)石川県、県障害者スポーツ協会</p> <p>■社会福祉法人石川県聴覚障害者協会</p>
<p>⑨名古屋市（愛知県）</p> <p>あいちパラスポPARK</p>	<p>○2月22日（土）</p> <p>○会場：愛知県体育館</p> <p>○参加者：約250名</p> <p>○内容：日本手話言語・国際手話体験、パネル展示等</p>	<p>○主催：愛知県</p> <p>■一般社団法人愛知県聴覚障害者協会</p>

### 3. 報告（2）第4回コンプライアンス委員会について

- コンプライアンス委員会は、運営委員会のコンプライアンスの推進に係る重要な方針の策定や啓発、連盟理事、監事および運営委員会の運営委員、運営委員会事務局職員のコンプライアンス違反への対応について、運営委員会の諮問に対し審議し、意見を具申する。
- 12月10日に第4回コンプライアンス委員会を開催し、2024年度コンプライアンス推進計画の上半期達成状況について審議を行った。
- 次回開催は3月を予定。

主な審議事項	審議結果
2024年度コンプライアンス推進計画の上半期達成状況	上半期の遂行状況について問題ないこと、下半期について計画変更の必要性がないことを確認・承認された。

### 3. 報告（3）第4回及び第5回利益相反管理委員会について

- 利益相反管理委員会は、運営委員会の事業活動における取引の公正性や信頼性を確保するため、連盟理事、監事および運営委員会の運営委員、運営委員会事務局職員（以下「役職員等」という。）の利益相反関係を審査する。
- 9月30日に第4回利益相反管理委員会を開催し、役職員等からの利益相反自己申告書の審査及び利益相反管理チェックシートの確認について、審議を行った。

主な審議事項	審議結果
利益相反自己申告書の確認	役職員等（申告内容に変更があったもの）から提出された自己申告書を審査し、利益相反事項がないことを確認・承認された。
利益相反管理チェックシートの確認について	役職員等から提出された2024年度第2四半期分利益相反管理チェックシートを審査し、全件利益相反やチェック箇所の内容に問題がないことを確認・承認された。

- 1月7日に第5回利益相反管理委員会を開催し、役職員等からの利益相反管理チェックシートの確認について、審議を行った。

主な審議事項	審議結果
利益相反管理チェックシートの確認について	役職員等から提出された2024年度第3四半期分利益相反管理チェックシートを審査し、全件利益相反やチェック箇所の内容に問題がないことを確認・承認された。

### 3. 報告（4）2024年度利益相反管理研修及びコンプライアンス研修の実施について

○ デフリンピック運営委員会の役職員に対し、利益相反管理研修及びコンプライアンス研修を書面で実施した。各役職員からの実施完了報告（Googleフォームまたは書面様式による）の提出を受け、実施確認を行った。

○ 今後も定期的に両研修を実施し、デフリンピック運営業務に係る役職員の規範意識醸成を図るとともに、役職員がコンプライアンスに反することなく業務を遂行できているか随時確認する。

研修名	実施時期	目的	研修内容
利益相反管理研修	7月	利益相反管理体制と役職員が遵守すべきルールを理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 利益相反とは</li><li>・ 利益相反となる事例</li><li>・ 「利益相反に関する自己申告書」及び「利益相反管理チェックシート」提出の必要性</li></ul>
コンプライアンス研修Ⅰ	4月	コンプライアンス（法令遵守）を推進し、役職員の規範意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ スポーツ文化事業団との合同研修</li><li>・ テーマは「ガバナンスの基本的枠組み」と「ろう者の文化の理解促進」</li></ul>
コンプライアンス研修Ⅱ	10月		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国際スポーツ大会におけるコンプライアンス</li><li>・ 情報公開について</li><li>・ 個人情報漏洩、滅失、き損防止</li></ul>

# 3. 報告（5）ボランティアについて



令和7年2月14日  
生活文化スポーツ局

## 東京2025デフリンピック ボランティア 募集定員6倍超の約1万9千人が応募

本年11月に開催される東京2025デフリンピックの競技会場等で活動いただく約3,000人のボランティアを令和6年11月15日（金曜日）から令和7年1月31日（金曜日）までの期間で募集しました。

下記の通りご応募いただきましたので、お知らせします。ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。今後、希望する活動場所等を踏まえ抽選を行い、結果を通知します。

障害のあるなしに関わらず、多様な人々がボランティアとして活躍いただける大会を目指してまいります。

### 記

#### 1 応募人数

18,903人

#### 2 今後のスケジュール

日程	内容
令和7年3月下旬頃	抽選結果を通知
令和7年4月～6月頃	詳細な活動場所・活動日程等の調整
令和7年6月頃～	共通研修、手話言語研修・ろう者の文化等理解研修
令和7年8月～9月頃	役割・シフト（詳細な活動時間）等の調整
令和7年10月～11月頃	配置・役割別研修
令和7年11月10日 ～11月28日	東京2025デフリンピック本番時の活動

※令和7年4月以降のボランティア運営は、大会運営組織である（公財）東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部が行います。

#### 【問合せ先】

東京都生活文化スポーツ局 国際スポーツ事業部 事業調整第二課  
電話：03-5000-7438

### 3. 報告（6）令和6年度デフリンピック気運醸成の都の主な取組について

- 多くの都民に大会に参画してもらえよう、様々な機会を捉えて大会への関心を高める取組を幅広く展開し、デフリンピックの都内認知度が14.8%から39.0%に急上昇
- 全国においても、一緒に応援し、盛り上げていくことが重要との認識から、様々な大会PRを実施

#### 切れ目のない大会気運の醸成

- 6月に大会公式マスコットを決定し、自治体等のキャラクターとともに応援隊を結成
- 7月には都内区市町村の全小学校1382校の4～6年生約34万人にデフハンドブックを配布、合わせて、手話やデフリンピックに関する特別授業を実施
- 全国小中高生対象にメダルデザインのオンライン投票を実施（約8万人が投票）
- 大会1年前には、デフアスリートや応援アンバサダーを招いてイベントを実施  
メダルデザインや新しい応援スタイル「サインエール」を発表



#### 多様な媒体を活用した大会PR

- SNSでの応援メッセージの一斉配信、検索サイト等のバナー広告掲出、電車内での動画放映等
- 広報東京都11月号で大会を特集したほか、25以上の区市町村広報誌においても大会情報を発信
- 年間を通じ、区市町村等が主催するイベントにPRブースを出展（R6：90回(12月末時点)）



#### 都外での大会PR

- 九都県市首脳会議、鳥取、大阪、豊田市等における大会PR
- スポーツ庁を通じて、デフハンドブックやメダルデザイン投票を全国に周知
- SAGA2024国スポ・全障スポ・ねんりんピックにおいて、横断幕等を掲出
- バッジやポスター等を全国に配布（バッジ：15,600個、ポスター：約1,100枚）



# 3. 報告（7）「ビジョン2025 アクションブック バージョンアップ」について



## 世界陸上・デフリンピック ビジョン2025 アクションブック バージョンアップ

- ◆ 東京2020大会では、サステナブルな社会への道筋を示すとともに、ボランティア文化の定着といった多くのレガシーも生まれました。このように、国際スポーツ大会は、**社会をより輝かせる力**を持っています。
- ◆ 2025年の世界陸上とデフリンピックにおいて、東京2020大会のレガシーをしっかりと受け継ぎながら**明るい未来への歩みを加速**させるため、都は昨年度までに「ビジョン2025」及び「アクションブック」を策定しました。
- ◆ 本書は、両大会の開催が目前に迫る中、この「アクションブック」の内容を充実させ、**両大会を通じた取組や、その中で創出されるレガシーを体系的にお示ししたもの**となります。



ビジョン2025（基本方針）

バージョンアップ  
（本書）



アクションブック（取組指針）

東京2025  
世界陸上  
9月13日～21日

2025

東京2025  
デフリンピック  
11月15日～26日

全ての人が輝く  
インクルーシブな街・東京へ

## ビジョン2025の実現に向けた基本的な考え方

### 3つのConcept

- ◆ **東京2020大会のレガシー**を継承・発展
- ◆ 両大会一体となって**ウェルネスの向上や社会変革**を推進
- ◆ 2025年を機に、東京に**新たなレガシー**を創出

### Sports + 10のAction

- 【スポーツの価値を再認識】 - 推しスポーツProjectの展開
- 【みんながつながる】 ①大事な情報、伝える工夫 ②デジタルで拓く東京の未来
- 【世界の人々が出会う】 ③芸術文化に触れ、感じる ④世界に東京の魅力をPR
- 【子どもたちが夢をみる】 ⑤2025 for キッズ ⑥2025 with キッズ
- 【未来へつなぐ】 ⑦みんなで守る、みんなの環境 ⑧共に生きる未来を創る
- 【みんなで創る】 ⑨Make it together 2025 ⑩知って、楽しんで、応援しよう！

## 「推しスポーツProject」

## 「10のAction」における主な取組と目指す姿（レガシー）

- ◆両大会の開催を機に、スポーツを「**する・みる・支える・応援する**」の視点から、様々なスポーツに親しむ機会を創出
- ◆都民一人ひとりの好みや特性に合ったスポーツの楽しさ = 「**推しスポーツ**」の発見を支援

### 「推しスポーツ」の発見・実施を後押しする **3** つの取組

- ≪ **キッズスポーツプログラム** ≫  
アスリートとの交流や子供（親子）向けスポーツ教室など
- ≪ **健康長寿プログラム** ≫  
体力測定に基づく運動指導や、シニアを対象とした交流会など
- ≪ **Let's enjoy sports !** ≫  
各種大会や試合観戦、ボランティアなどを通じた楽しさ・面白さの体感

### みんなが つながる

- ①国際手話人材の育成や、都立スポーツ施設の**アクセシビリティ設備整備**
- ②公共施設への**ユニバーサルコミュニケーション機器**の導入や、大会での**技術活用**



今後の**情報保障の充実**や**新たなコミュニケーション技術**の普及

### 世界の 人々が 出会う

- ③3つの**アートプロジェクト**や、**芸術文化**への**アクセシビリティ向上**への取組
- ④競技会場や関連イベントでの**東京の魅力発信**や、**スタートアップの技術活用**



**芸術文化の振興**や**訪都旅行者数の増加**、**スタートアップの成長**

### 子ども たちが 夢をみる

- ⑤国立競技場での**子供向け陸上教室**や、学校における**きこえないことへの理解啓発**
- ⑥両大会の**競技観戦への招待**や、大会の**シンボル制作**への参画



子供たちの**健やかな成長**

### 未来へ つなぐ

- ⑦**次世代型ソーラーセル**や**SAF**の活用など、環境に配慮した取組の推進
- ⑧**ハンドブック**などを通じた**共生社会**の発信や、多様な人々との**交流イベント**



**持続可能な社会**や**共生社会**の実現に向けた歩みの加速

### みんな で 創る

- ⑨多様な人々の**ボランティア参画**（合計約6千人）や、**デフアスリートへの支援**
- ⑩**節目を捉えた気運醸成イベント**や、**競技会場及びその周辺でのスポーツイベント**



**ボランティア文化**のさらなる根付き、**スポーツへの継続的な関わり**

### 3. 報告（8）競技会場・競技日程について

## 東京2025デフリンピック 競技会場・練習会場について

➤ 以下のとおり、追加の競技会場及び練習会場を公表（赤字下線部分が今回追加の会場）

※ 本大会における開閉会式と各競技の観覧・観戦を無料とすることについても公表

#### 【競技会場】

	競技名	会場
1	陸上 (マラソン) (ハンマー投げ)	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 <u>東京高速道路及び首都高速道路高速八重洲線の一部</u> <u>大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場</u>
2	バドミントン	武蔵野の森総合スポーツプラザ
3	バスケットボール	大田区総合体育館
4	ビーチバレーボール	大森ふるさとの浜辺公園
5	ボウリング	東大和グランドボウル
6	自転車（ロード）	日本サイクルスポーツセンター
7	自転車（MTB）	日本サイクルスポーツセンター
8	サッカー	Jヴィレッジ
9	ゴルフ	若洲ゴルフリンクス
10	ハンドボール	駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場

	競技名	会場
11	柔道	東京武道館
12	空手	東京武道館
13	オリエンテーリング	日比谷公園・ <u>日比谷エリア</u> 、伊豆大島（裏砂漠）
14	射撃	味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト
15	水泳	東京アクアティクスセンター
16	卓球	東京体育館
17	テコンドー	中野区立総合体育館
18	テニス	有明テニスの森
19	バレーボール	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
20	レスリング (フリースタイル)	府中市立総合体育館
21	レスリング (グレコローマン)	府中市立総合体育館

#### 【練習会場】

競技名	会場
陸上	<u>大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場</u>
バスケットボール・バレーボール	<u>国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟</u>

左記の競技以外は、競技会場と同じ会場を練習会場とします。



◆ 東京2025デフリンピック 競技日程一覧表 <暫定版> (2025年1月31日現在) ※予備登録結果を反映 【凡例】 ○：競技日 \*：練習日

No.	競技名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
0	開閉会式					○											○
1	陸上競技			*	*	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	バドミントン				*	*	○	○	○	○	○	*	○	○	○		
3	バスケットボール				*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	ビーチバレーボール			*	*	*	○	○	○	○	○	○	○				
5	ボウリング					*	*	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	自転車競技 (ロード)						*	○	○	*	○	*	○				
7	サッカー		*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	ゴルフ							*	○	○	○	○					
9	ハンドボール			*	*	*	○	○	*	○	*	○	*	○	*	○	
10	柔道			*	*	*	○	○	○								
11	空手											*	*	○	○	○	
12	自転車競技 (マウンテンバイク)													*	○	○	
13	オリエンテーリング				*	○	○		*	*	○	○		○			
14	射撃					*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	水泳							*	*	*	○	○	○	○	○	○	
16	卓球						*	*	○	○	○	○	*	○	○		
17	テコンドー										*	*	○	○	○		
18	テニス		*	*	*	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	バレーボール			*	*	*	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
20	レスリング (フリースタイル)										*	*		*	○	○	
21	レスリング (グレコローマン)										*	*	○	○			

### 3. 報告（9）協賛企業の状況について

## 協賛契約の状況等について①



### 1 トータルサポートメンバー(25社)

企業名	公表日
株式会社はとバス	2024年9月17日
株式会社光文堂インターナショナル	
株式会社ゼンリンデータコム	
株式会社ジェイ・ブロード	
リオン株式会社	2024年11月13日
住友電設株式会社	
アデッソ株式会社	
株式会社ジャパンディスプレイ	
株式会社リードビジョン	
岡山放送株式会社	
アマゾンジャパン合同会社	
株式会社 JTB	2024年11月26日
株式会社読売新聞東京本社	
株式会社朝日新聞社	

企業名	公表日
株式会社アシックス	2025年1月24日
株式会社TBSホールディングス	
SMBC日興証券株式会社	
ケイアイスター不動産株式会社	
株式会社アイシン	
東日本旅客鉄道株式会社	2025年2月21日
株式会社TBグループ	
株式会社TOWA	
東京新聞(株式会社中日新聞社東京本社)	
太平電業株式会社	2025年2月28日
ソフトバンク株式会社	



### 2 ゲームズサポートメンバー(8社)

企業名	競技	公表日
株式会社キャスト・ワークス	サッカー	2024年11月13日
株式会社ティーケーラボ	サッカー	
富士通株式会社	卓球	
えびすや土産店	オリエンテーリング	2025年1月24日
太平電業株式会社	陸上・卓球	2025年2月21日
株式会社カインズ	バスケットボール	
株式会社CCCMKホールディングス	サッカー	
株式会社リコー	バスケットボール	



# 3. 報告 (10) キャッシュレス募金について



【プレスリリース】  
報道関係者各位

令和7年2月21日  
(公財) 東京都スポーツ文化事業団

## 東京 2025 デフリンピック キャッシュレス募金受付を開始します！

当事業団デフリンピック準備運営本部は、「東京 2025 デフリンピック」を皆様と力を合わせてつくっていくため、口座振込による寄附を受け付けております。この度、スマートフォン等からより便利に、気軽に大会に参画いただける仕組みとして、令和7年2月21日(金)から新たにVポイント及び「d払い<sup>®</sup>」による募金受付を開始します。皆様からの温かいご支援をお待ちしております。



### 1 募金の概要

#### (1) 実施期間

令和7年2月21日(金)～11月30日(日)

#### (2) 募金の種類

Vポイント募金 及び 「d払い<sup>®</sup>」募金

#### (3) 募金の使途

東京 2025 デフリンピックの準備・運営に必要な費用に活用させていただきます。

詳細については、[本大会情報サイト 募金ページ](#)をご覧ください。

### 2 Vポイントによる募金

Vポイント募金の公式サイトより専用ページにアクセスし、希望のポイント数を入力することで寄附ができます。Vポイント1ポイントから1ポイント単位で寄附が可能です。

なお、Vポイント募金をするためには、Vポイントサイトへのログインが必要です。

詳細は、[Vポイント募金サイト](#)をご確認ください。



Vポイント募金サイト内  
デフリンピック募金ページ

### 3 「d払い<sup>®</sup>」による募金

スマートフォンから二次元コードを読み取り、専用ページから金額等を入力するだけで募金ができます。募金はd払い残高(現金バリュー)やクレジットカード等のほか、dポイントの利用もでき、1円から可能です。

なお、「d払い<sup>®</sup>」募金をするためには、d払いアプリ(ドコモ回線又はdアカウントでログイン)が必要です。

詳細は、[d払いサービスサイト](#)をご確認ください。



d払いアプリ内  
デフリンピック募金ページ



#### 4 募金に関する注意事項

Vポイント募金及び「d払い<sup>®</sup>」募金では、寄附金受領書は発行されません。

寄附金控除（所得控除）をご希望の方は、[本大会情報サイト 寄附ページ](#)をご確認の上、指定口座振込による寄附をお願いいたします。

\* 「d払い」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

#### （参考）

デフリンピック：デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味で、「きこえない・きこえにくい人のための国際スポーツ大会」のことです。4年に1度、夏季大会と冬季大会がそれぞれ開かれ、耳のきこえない人のために様々な工夫がされています。今回の東京大会は100周年大会です。

（東京2025デフリンピック大会情報サイト：<https://deaflympics2025-games.jp/>）

大会名称	第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025
大会期間	2025年11月15日～11月26日（12日間）
参加者数	各国選手団等約6,000人
参加国	70～80か国・地域
大会会場	駒沢オリンピック公園総合運動場、東京体育館ほか

【報道関係者からの問合せ先】東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部 総務部財務企画グループ  
住所：東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル14階  
電話：03-6380-7764 メールアドレス：contribution(at)deaf2025.jp  
迷惑メール対策のため、メールアドレスの表記を一部変更しております。お手数ですが、メール送信の際は(at)を@に置き換えてご利用ください。

# 3. 報告（11）さくらキャンペーンについて



【プレスリリース】  
報道関係者各位

令和7年3月5日  
(公財)東京都スポーツ文化事業団

## 東京 2025 デフリンピック さくらキャンペーン

～大会メインカラーは桜色！みんなで盛り上げよう～

今年11月に開催されるデフリンピックは、日本では初めての開催となり、1924年にパリで第1回デフリンピックが開催されてから100周年の節目となる大会になります。

東京2025デフリンピックの大会メインカラーである桜色は日本の伝統色であり、「桜(ソメイヨシノ)」は都の花として指定され、また、日本をイメージさせる花としても国内外で広く認知されています。

このたび、桜の季節に合わせ、大会メインカラーである桜色を活用した『さくらキャンペーン』を実施することで、デフリンピックを応援したい、一緒に創り上げたいという想いの力を合わせ、皆様とともに視覚的に大会を発信していくことで、大会の認知促進をより一層加速させます。みんなで大会を盛り上げましょう。よろしくお願いいたします。

### 1 大会メインカラーについて

【桜色（さくらいろ）】



【カラーコード】

#fef4f4 Red:254 Green:244 Blue:244

### 2 さくらキャンペーン実施期間

令和7年3月17日（月）～3月30日（日）

### 3 連携先：取組内容例

- (1) 協賛企業：ポスター掲出、エンブレムバッジの着用、CMの放映等
- (2) 会場所有自治体等：ライトアップ（都庁第一本庁舎等）、会場装飾デザインの活用等
- (3) 会場施設：ライトアップ（東京体育館、駒沢オリンピック公園、東京アクアティクスセンター）
- (4) 個人、関係団体、アスリート等：SNS投稿企画 ※ 詳細は別添参照



<参考>

デフリンピック：デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味で、「きこえない、きこえにくい人のための国際スポーツ大会」のことです。4年に1度、夏季大会と冬季大会がそれぞれ開かれ、耳のきこえない人のために様々な工夫がされています。今回の東京大会は100周年大会です。

(東京 2025 デフリンピック 大会情報サイト：<https://deaflympics2025-games.jp/>)



大会名称	第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025
大会期間	2025 年 11 月 15 日～11 月 26 日 (12 日間)
参加者数	各国選手団等約 6,000 人
参加国	70～80 か国・地域
大会会場	駒沢オリンピック公園総合運動場、東京体育館ほか

【問合せ先】東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部 総務部 企画・広報グループ  
住所：東京都江東区青海 2-4-24 青海フロンティアビル 14 階  
電話：03-6380-7727 メールアドレス：koho(at)deaf2025.jp  
迷惑メール対策のため、メールアドレスの表記を一部変更しております。お手数ですが、メール送信の際は(at)を@に置き換えてご利用ください。

# みんなで創ろう！東京2025デフリンピック さくらキャンペーン

【期間】2025年3月17日（月）から3月30日（日）まで

東京2025デフリンピックの大会メインカラーは桜色。  
まち全体を応援の桜色でいっぱいにして、  
デフリンピックをもっと盛り上げよう！

## ■SNS投稿企画に参加！～さくら色は応援のしるし～

### #さくらデフリンピック #sakuradeaflympics

桜色の写真（桜の木、桜色のライトアップ、デフリンピックのポスターやのぼりなど）と一緒に、選手たちへの応援メッセージやデフリンピックへの想いを投稿しよう！

1



デフ本部  
Instagram/Xを  
フォロー



Instagram X

2



桜色の写真を用意  
（過去の写真でも  
OK!）

※メッセージだけ  
の投稿も  
大歓迎！！

3



デフ本部アカウントをタグ付け  
&  
ハッシュタグ  
#さくらデフリンピック  
#sakuradeaflympics  
とともに  
デフリンピックへの想いを  
投稿して応援しよう！

皆さんのメッセージはサイト上に集約され、  
桜の花弁となって桜の木を満開にします。

【掲載先】東京2025デフリンピック 大会情報サイト ▶



## ■東京2025デフリンピック×桜の壁紙で応援！

東京2025デフリンピック×桜の季節を記念し、スマホ壁紙をプレゼント。是非HPからダウンロードしてご使用いただき、一緒に東京2025デフリンピックを盛り上げましょう！



